

間もなく出穂期です。イネカメムシの

適期防除に努めましょう！



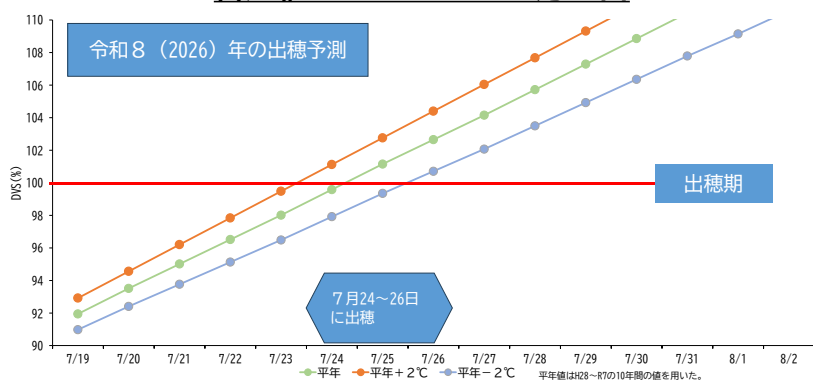
令和8年7月
栃木県農政部経営技術課

イネカメムシによる不稔の防止には
出穂期防除が必須

出穂は**昨年並～やや遅くなる**可能性あり

※ 県央部5月4日移植コシヒカリは7月24～26日出穂する予測となっています

【参考】令和7（2025）年 生育診断基本調査における出穂期
早植コシヒカリ：7月23日 早植とちぎの星：7月30日
普通植とちぎの星：8月12日 ※ 出穂期の日付は昨年の県内平均



出穂期の被害

不稔で
収量が低下



写真 出穂した穂

図 DVSによる出穂期予測（宇都宮 5/4移植 コシヒカリ）

【注 意】

葉鞘からわずかでも穂が出ていれば出穂です。
ほ場全体の**4～5割出穂**していれば**出穂期**となります。

7月上中旬 →	出穂期	穂揃期	乳熟初期	乳熟後期以降 →	収穫後
(1) 発生初期の把握	(2) 薬剤防除の実施				(3) 耕運
イネカメムシ 対策	薬剤散布 1回目	7～10日後	薬剤散布 2回目	追加防除 3回目	秋耕
	不稔 防止		斑点米 防止	斑点米 防止	生息場所 除去

図 イネカメムシの発生地域における斑点米カメムシ類の総合防除対策の体系